

電力使用量管理手順書

| |
|------|
| 文書番号 |
|------|

| |
|-------|
| PN001 |
|-------|

1. 目的

この手順書は、電力使用量の管理に努めるための実施手順を定める。

2. 電力使用量の管理

- 1) 部門内責任者は、電力使用量の管理の目的・目標を、従業員に周知させる確な履行を促す。
- 2) 部門内責任者は、電力使用量の管理を的確に行うための担当者を指名する。指名されたものは、活動並びに記録の管理責任をもち、管理状況を1回/月部門内責任者に報告し、必要な指示を受ける。
- 3) 部門内責任者は、日常の管理において不具合な面があれば、従業員に適切な指示とその履行を促す。
- 4) EMS事務局は、毎月月末に電力使用量を電力計で確認し、記録用紙（[様式『電 - 3』](#)）に記録する。それを全体環境マネジメントプログラム/実績管理表（電力）にて、環境管理責任者に報告する。
- 5) 環境管理責任者は、電力使用量の管理状況がプログラムに適合しないか、しなくなることが予測される場合、環境推進委員会にて部門内責任者に、原因の調査を依頼し、原因を特定し、是正及び予防処置に着手し逸脱を防止する。

3. 具体的な方法

- 1) エアコンの運用について、下記の通りとし、エアコン使用時に寒暖計を確認しその結果を記録用紙（[様式『電 - 1』](#)）に記録する。

暖房を使用する際、室内温度は20 を超えないこととする。
冷房を使用する際、室内温度は28 を下まわらないこととする。
エアコンの温度設定をこまめに調節し、上記室内温度の維持に努める。
エアコンを運転している際、最終退出者は本人の責任において確実に電源を切る。
エアコンフィルターの除塵清掃は夏季及び冬季のエアコン使用前に年2回実施し、記録用紙（[様式『電 1』](#)）に記録する。
- 2) 照明の運用について、下記の通りとし、消灯の実施状況を記録用紙（[様](#)

[式『電 - 2』](#)) に記録する。

使用していない部屋や昼休等の unnecessary 電灯は消灯する。

照明を使用し最後に退出する際は、確実に消灯する。

関連文書等

記録用紙 ([様式『電 - 1』](#))

記録用紙 ([様式『電 - 2』](#))

記録用紙 ([様式『電 - 3』](#))

| 制定・改訂履歴表 | | | | |
|----------|------------------|------------|------|------|
| 改訂版番号 | 改訂理由と主な改定内容 | 改訂年月日 | 事務局印 | 承認者印 |
| 第1版 | 初版 | H.11.11.15 | | 許田 |
| 第2版 | 環境推進委員会による全面見直し | H.12. 1.15 | | 許田 |
| 第3版 | 環境管理責任者による見直し | H.12. 4.14 | | 許田 |
| 第4版 | 環境推進委員会による全面見直し | H.16.12.13 | | 許田 |
| 第5版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.17.11.14 | | 許田 |
| 第6版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.18. 2.13 | | 許田 |
| 第7版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.18.11.13 | | 許田 |
| 第8版 | 環境推進委員会による全面レビュー | H.19.11.19 | | 許田 |